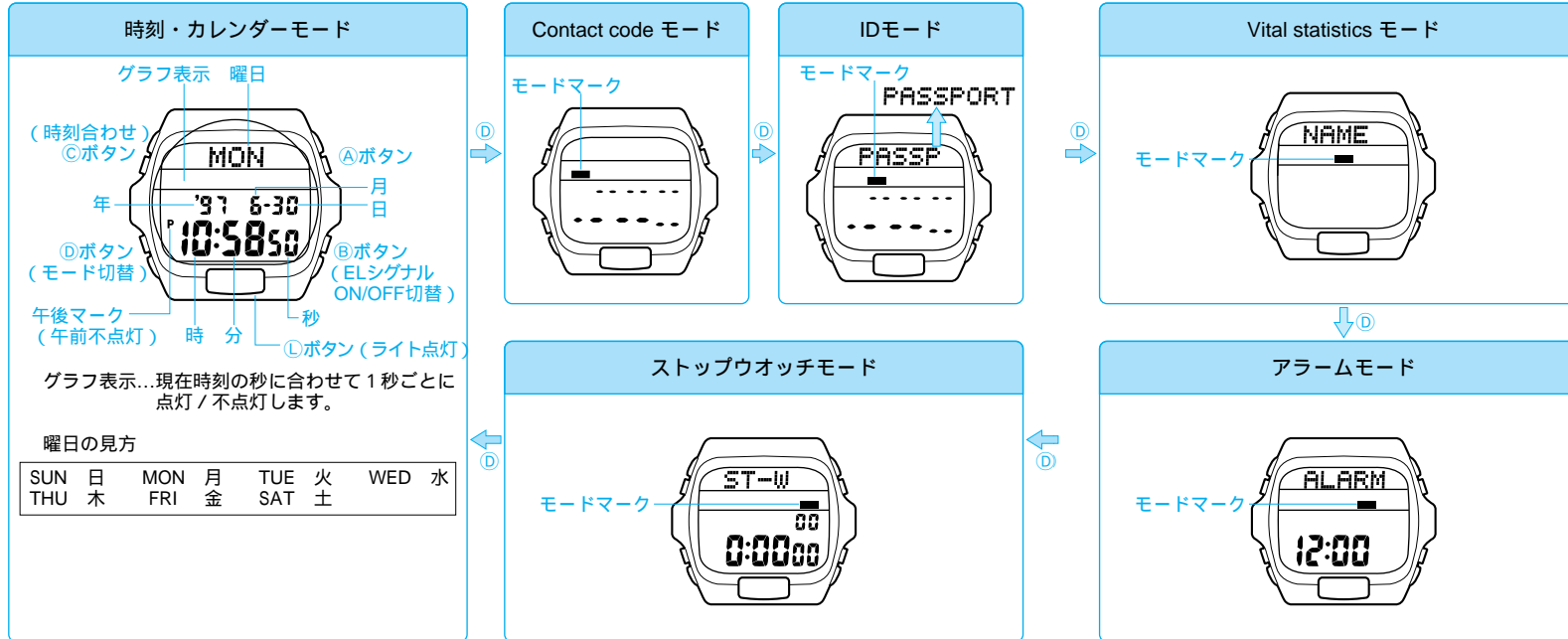


操作のしくみと表示の見方 ①ボタンを押すごとにモードが切り替わります。



ライト点灯について

どのモードでも、①ボタンを押すと文字板が約3秒間発光します。

文字板発光中に①ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。ただし、①ボタンを1~2分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。



ご注意

直射日光下では、発光が見えにくくなります。発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

名前部・数字部の入力のしかた

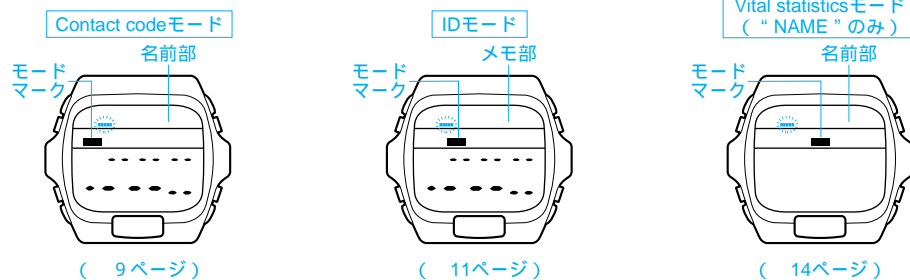
名前部（文字）の入力

本機はContact codeモード、IDモード、Vital statisticsモード（“NAME”のみ）の名前（メモ）部に、文字入力ができます。

Contact codeモード、IDモードには最大8文字、Vital statisticsモードのNAMEには最大20文字まで文字入力ができます。
入力できる文字は、カタカナ（ア～ン、ア・ヤ・ッなどの小文字、`、`）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-、.、/、:、空白）です。

名前部入力時の表示

入力表示にするには、各モードの「データ入力」をご覧ください。



ご注意とお願い

本機は、電話番号、パスポート、免許証、クレジットカードなどの大切な番号を登録/呼び出しすることができます。ただし、これらの番号を登録した時計を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用される恐れがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。なお、本機にクレジットカードなどの番号を登録する際は、他人にわからない形で入力することをおすすめします。

万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

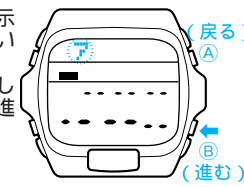
名前入力のしかた

- (1) 各モードの名前入力表示のとき、

ⓑまたはⒶボタンを押します

点滅箇所に表示されますので、入れたい文字を選びます。

Ⓐ・ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。



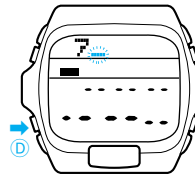
(例：Contact codeモードのとき)

- (2) 文字を選んだら、

ⓓボタンを押します

点滅箇所が右に1つ移動します。

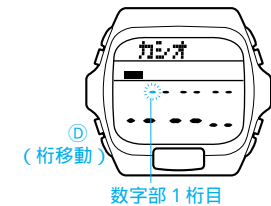
ⓓボタンを押し続けると、点滅箇所が早く移動します。



上記(1)~(2)を繰り返して名前を入力していきます。

文字が点滅したまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

Contact codeモード、IDモードのときは、8文字すべてを入力すると自動的に点滅箇所が数字部に移動しますので、引き続き数字部の入力ができます。入力した文字が7文字以下のときは、名前入力後、ⓓボタンを何回か押して点滅箇所を数字部に移動させます。(下図)



番号部 (数字) の入力

本機はContact codeモードの電話番号部、IDモードの番号部に、最大12桁までの数字を入力できます。

番号入力時の表示

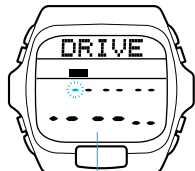
入力表示にするには、各モードでの「データ入力」をご覧ください。

Contact codeモード



電話番号部 (9ページ)

IDモード



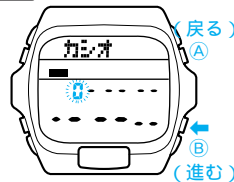
番号部 (11ページ)

番号入力のしかた

(1) 各モードの番号入力表示のとき、

ⓑまたはⒶボタンを押します

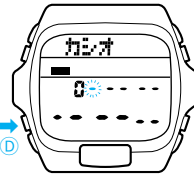
点滅箇所に表示された数字を選んでください。
Ⓐ・ⓑボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。



(2) 数字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

点滅箇所が右に1つ移動します。
Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きま



上記(1)~(2)を繰り返して番号を入力していきます。

数字が点滅したまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。
12桁すべてを入力すると自動的に点滅箇所が名前部に移動します。

Contact codeモードの使い方

Ⓓボタンを押して、Contact codeモードにします。Contact codeモードに切り替えると、前回最後に選んだデータを表示します。

Contact codeモードとは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。本機は、名前8文字、電話番号12桁を最大20件*まで記憶できます。
*記憶件数は、「IDモード」のデータと合わせて最大20件となります。(例えば「IDモード」でデータを3本記憶しているときは、Contact codeのデータは最大17本まで記憶できます)

データを入力すると、名前順に並び変わりますので、データを探すときにたいへん便利です。(10ページ「データの呼び出し」)

残りメモリー数の確認

Ⓐ・ⓑボタンを同時に押します

Ⓐ・ⓑボタンを押している間、残りメモリー数を表示します。

工場出荷時に「IDモード」であらかじめ3本使用している(11ページ参照)ため、ご購入後すぐの残りメモリー数は17になります。

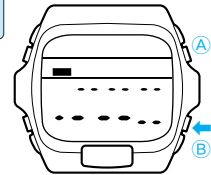


残りメモリー数

データ入力

(1) 空ページを探す

Ⓐまたはⓑボタンを押します



(空ページ)

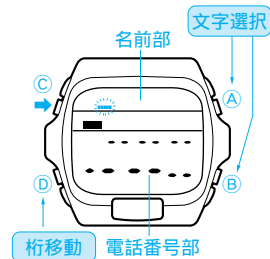
FULL

空ページがないときは、名前部に「FULL」と表示されます。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。(10ページ「データの消去」参照)

(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを押します

6ページ「名前部の入力」を参照して名前を、8ページ「番号部の入力」を参照して電話番号を入力します。



桁移動 電話番号部

(3) 入力を終わる

ⓐボタンを押します

点滅が止まり、入力したデータを表示します。

名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返し行ないます。

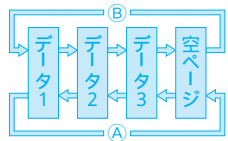
入力したデータは名前順に並び変えられます。

データの呼び出し

ⓐまたはⓑボタンを押します



ⓑボタンを押すごとに名前順に進み、ⓐボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



データを3本入力しているとき

データの修正

- (1) ⓐまたはⓑボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) ⓒボタンを押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
- (4) 修正後、ⓒボタンを押します。

データの消去

- (1) ⓐまたはⓑボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) ⓒボタンを押して、入力表示にします。
- (3) ⓐ・ⓑボタンを同時に押します。
確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去後、ⓒボタンを押します。

IDモードの使い方

ⓓボタンを押して、IDモードにします。
IDモードに切り替えると、前回最後に選んだデータを表示します。

IDモードとは

パスポート、免許証、クレジットカードなどの番号を最大20件*まで記憶できる機能です。各項目の後に最大8文字までメモを記憶することもできます。

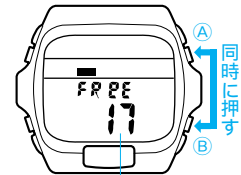
*記憶件数は、「Contact codeモード」のデータと合わせて最大20件までとなります。(例えば「Contact codeモード」でデータを3本記憶しているときは、IDデータは最大17件まで記憶できます)

データを入力すると、項目別に並び変わりますので、データを探すときにたいへん便利です。
(13ページ「データの呼び出し」参照)

残りメモリー数の確認

ⓑ・ⓐボタンを同時に押します

ⓐ・ⓑボタンを押している間、残りメモリー数を表示します。



残りメモリー数

工場出荷時に「IDモード」であらかじめ3本使用しているため、ご購入後すぐの残りメモリー数は17になります。

工場出荷時に、IDモードで入力できる項目(PASSPORT、LICENSE、CREDIT)があらかじめ1つずつ入力されています。
必要ないときは、それぞれの項目を消すこともできます。
(13ページ「データの消去」参照)

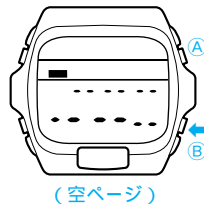
データ入力

(1) 空ページを探す

①または②ボタンを押します

空ページがないときは、メモ部に「FULL」と表示されます。これ以上記憶できませんので不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。

(13ページ「データの消去」参照)

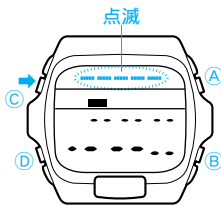


FULL

(2) 入力表示にする

③ボタンを押します

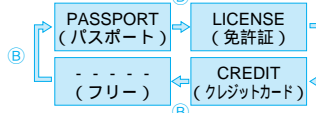
“ - - - - ” が点滅します。



(3) 項目を選ぶ

②ボタンを押します

②ボタンを押すごとに以下の順で項目が変わりますので、入力したい項目を選びます。



①ボタンを押すと逆方向に進みます。

②・①ボタンとも、押し続けると早く進みます。

参考～使用しない項目名は～
本機にはあらかじめ3つの項目名 (PASSPORT、LICENSE、CREDIT) が入力されています。使用しない項目名があるときは、以下の手順で他の項目名に変えることができます。

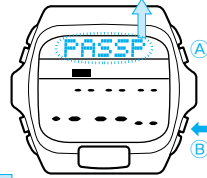
- ②ボタンで使用しない項目名を選んでから、③ボタンを押します。
- ②ボタンを押して、変えたい項目名を選びます。
- ③ボタンを押して、点滅を止めます。

(工場出荷時) “CREDIT” を (項目名変更後)



なお・不要な項目は13ページ「データの消去」により消すこともできます。

PASSPORT

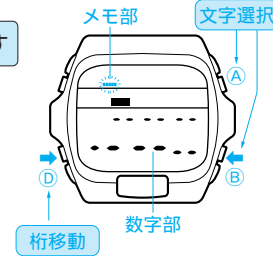


(4) 入力を始める

④ボタンを押します

メモ1桁目が点滅します。6ページ「名前の入力」を参照してメモを、8ページ「番号部の入力」を参照して数字をそれぞれ入力します。

メモに文字を入力しないときは④ボタンを何回か押して数字部を点滅させます。



(5) 入力を終わる

③ボタンを押します

点滅が止まり、入力したデータを表示します。

メモ部を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。続けてデータを入力したいときは、上記(1)～(5)を繰り返さないでください。入力したデータは項目順に並び替えられます。項目内ではメモの頭文字から比較して、「空白 カタカナ (50音順) アルファベット 数字 記号」の順で並べられます。

データの呼び出し

②または①ボタンを押します

②ボタンを押すごとに項目順に進み、①ボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



データの修正

- ①または②ボタンを押して、修正したいデータを探します。
- ③ボタンを押して、入力表示にします。
- 修正したい部分まで点滅を送り、文字 (数字) を修正します。
- 修正後、③ボタンを押します。

データの消去

- ①または②ボタンを押して、消去したいデータを探します。
- ③ボタンを押して、入力表示にします。
- ①・②ボタンを同時に押します。確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができません。
- 消去後、③ボタンを押します。

Vital statisticsモードの使い方

① ボタンを押して、Vital statisticsモードにします。Vital statisticsモードに切り替えると、“NAME”を表示します。

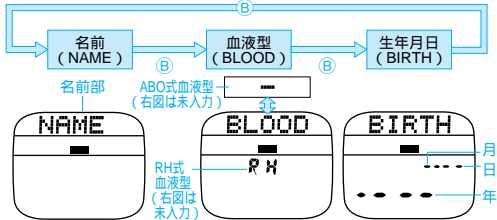
Vital statisticsモードでは、自分の名前（最大20文字）血液型（ABO式 / RH式）、生年月日を記憶できます。Vital statisticsモードには、自分のデータのみを入力してください。他人のデータを入れたり、自分のデータを入れた時計を他人に貸したりしないようにしてください。電池を交換すると、入力したデータはすべて消えてしまいます。電池交換後は再度データを入力してください。

各データの呼び出し

② ボタンを押します

② ボタンを押すごとに以下の順で表示が変わります。

① ボタンを押すと、逆方向に進みます。



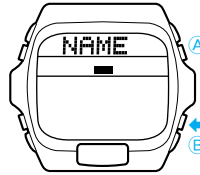
データ入力

< 名前入力 >

(1) データを選ぶ

② または ① ボタンを押します

“NAME” 表示を選びます。



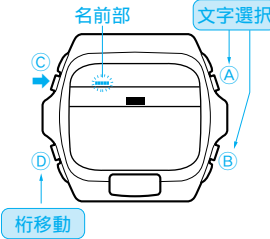
(2) 入力表示にする

③ ボタンを押します

名前部が点滅します。

6 ページ「名前部の入力」を参照して名前を入力します。

入力表示のとき、①・② ボタンを同時に押すと、入力した名前が消されます。



(3) 入力を終わる

③ ボタンを押します

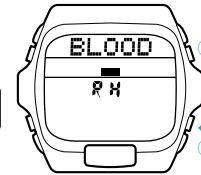
点滅が止まり、入力した名前を表示します。名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

< 血液型入力 >

(1) データを選ぶ

② または ① ボタンを押します

“BLOOD” 表示を選びます。上段に「ABO式」、下段に「RH式」血液型を表示します。未入力の時は上段に“-”、下段に“RH”のみを表示します。

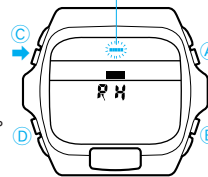


(2) 入力表示にする

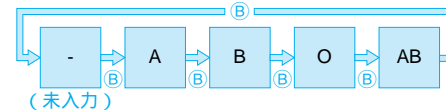
③ ボタンを押します

ABO式血液型が点滅します。

ABO式血液型

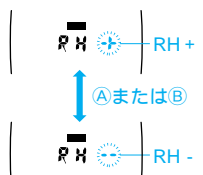


② ボタンを押すと、以下の順で変わります。表示したい血液型を選びます。



① ボタンを押すと逆方向に進みます。
②・① ボタンとも押し続けると早く進みます。

RH - のときは血液型 (A、B、O、ABのいずれか) を選んだ後に② ボタンを押すと、“+” が点滅します。このとき① または ② ボタンを押すと“-”に変わり、RH - を選ぶことができます。(もう一度押すと“+”に戻ります)



(3) 入力を終わる

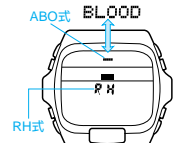
③ ボタンを押します

点滅が止まり、入力した血液型を表示します。点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

< ご注意 >

電池交換後など、データが入力されていないときの血液型は右記のようになります。

この表示は“RH - ”を表示したのではなく、データ未入力を意味しています。データ未入力のままでは、ご自分のデータと違う血液型だと誤解されることがありますので、ご自分の正確なデータを入力しておくようおすすめいたします。

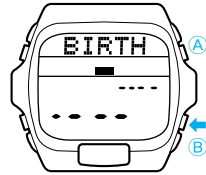


<生年月日入力>

- (1) データを選ぶ

ⒷまたはⒶボタンを押します

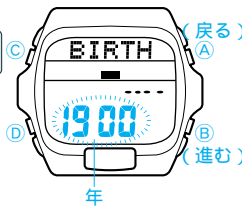
“BIRTH”表示を選びます。



- (2) 入力表示にする

Ⓒボタンを押します

年が点滅します。



Ⓑボタンを押すごとに数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。逆方向に進めるときはⒶボタンを押します。ⒷまたはⒶボタンを押して、生まれた年を選びます。

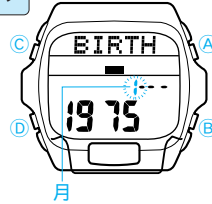
年は西暦で表示します。1900年から2039年の範囲内で選べます。

- (3) 月を入力する

年入力後、Ⓓボタンを押します

月が点滅します。

年と同様にⒷまたはⒶボタンを押して生まれた月を選びます。

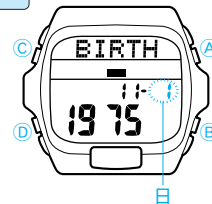


- (4) 日を入力する

月入力後、Ⓓボタンを押します

日が点滅します。

年と同様にⒷまたはⒶボタンを押して生まれた日を選びます。



- (5) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

点滅が止まり、入力した生年月日を表示します。

点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

時刻の合わせ方

- (1) 時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒボタンを押します

「秒」が点滅します。

「秒」合わせ... ±30秒以内の遅れ / 進みの調整

時報に合わせて、
Ⓑボタンを押します

「00」秒からスタートします。

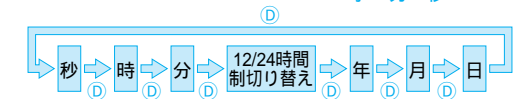


秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

「時刻・カレンダー」合わせ

- a. Ⓓボタンを押します

点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



- b. Ⓑボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

Ⓑボタンは押し続けると早く進みます。



上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。

「年」は西暦で1995～2039年の範囲内でセットできます。

「12/24時間制切り替え」のときは、**Ⓑ**ボタンを押すごとに「12H」「24H」と切り替わります。なお、アラーム時刻もここで選んだ時制で表示されます。

カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。


アラーム・時報の使い方

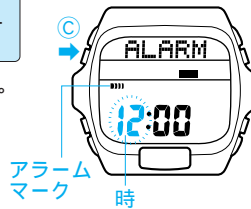
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

準備：**Ⓓ**ボタンを押してアラームモードにします。

(1) **Ⓒ**ボタンを押します

「時」が点滅します。このときアラームマーク()が点灯します。



(2) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

(2) **Ⓑ**ボタンを押します

Ⓑボタンを押すと「時」が進みますので、セットしたい時刻を表示させます。

押し続けると早く進みます。



「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) **Ⓓ**ボタンを押します

「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にして**Ⓑ**ボタンを押して数字を選びます。



もう一度**Ⓓ**ボタンを押すと「時」が点滅します。

(4) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。


点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、**Ⓐ**・**Ⓑ**・**Ⓒ**・**Ⓓ**・**Ⓔ**ボタンのいずれか1つを押すと、音が止まります。

モニターアラーム

アラームモードのときに**Ⓐ**ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

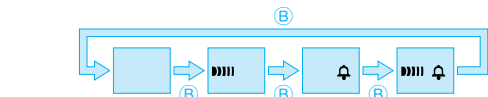
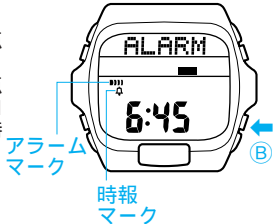
“  ”が点灯しているときは報音と同時に文字板が発光します。



アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：①ボタンを押してアラームモードにします。

②ボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯/不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときに“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム	鳴らない	鳴る	鳴らない	鳴る
時報	鳴らない	鳴らない	鳴る	鳴る

アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。アラーム・時報が“ON”で、ELシグナルも“ON”（点灯）のときは、報音のタイミングに合わせて文字板が発光します。

ELシグナルON/OFF

ELシグナルON（点灯）のとき、アラーム・時報の報音タイミングに合わせて文字板が発光します。

ELシグナルONにするには、時刻・カレンダーモードのとき、②ボタンを1～2秒間押し続けます。（確認音が鳴り“点灯”マークが点灯します）もう一度同じ操作をすると、“点灯”マークが消えてELシグナルOFFになります。



<ご注意>
電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。

ストップウォッチの使い方

本機のストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

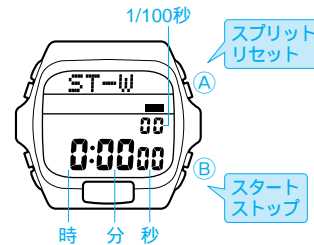
計測のしかた

準備：①ボタンを押してストップウォッチモードにします。

②ボタンを押すごとに計測開始/終了します

計測中に③ボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度③ボタンを押すとスプリットが解除されます。

*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。

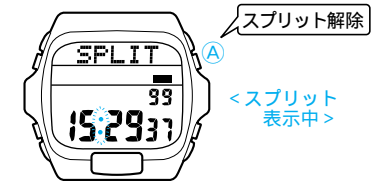


通常計測



<積算計測>
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに②ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム計測（途中経過時間計測）



1・2着同時計測

